

所沢市子ども・子育て会議
(平成26年度第4回)

会 議 録

平成27年1月23日

会 議 の 名 称	所沢市子ども・子育て会議（平成26年度第4回）
開 催 日 時	平成27年1月23日（金） 午後2時15分から4時15分まで
開 催 場 所	所沢市航空発祥記念館 研修室
出 席 者 の 氏 名	（会議録別表1）のとおり
欠 席 者 の 氏 名	藤澤 拓也（所沢市私立幼稚園協会） 五十嵐 俊昭（所沢商工会議所） 草刈 由美子（連合埼玉西部第四地域協議会） 本橋 奈穂子（市民公募）
説明者の職・氏名	
議 題	議事 （1）『ところっこ すくすく サポートプラン《所沢市子ども・子育て支援事業計画》』（素案）について パブリックコメント手続の実施結果について 素案の修正について （2） その他
会 議 資 料	・資料1：『ところっこ すくすく サポートプラン《所沢市子ども・子育て支援事業計画》』（素案）に対する「ご意見と市の考え方」 ・資料2：『ところっこ すくすく サポートプラン《所沢市子ども・子育て支援事業計画》』（素案）の修正ページ ・資料3：素案修正箇所一覧表
担 当 部 課 名	仲こども未来部長 本田こども未来部次長 こども支援課：浅見課長、岸主幹、山崎副主幹、肥沼主任、岡崎主任 こども福祉課：青木課長、守谷副主幹 青少年課：井上課長、斎藤副主幹、三上主査 保育課：町田課長、守谷主幹、草薨主査 （事務局）こども未来部こども支援課 電話 04-2998-9415

(会議録別表 1)

所沢市子ども・子育て会議委員会名簿

	氏 名	出欠席状況	選出母体等
1	根ヶ山 光一	出席	早稲田大学人間科学学術院
2	加賀谷 崇文	出席	学校法人 秋草学園 秋草学園短期大学
3	広瀬 正幸	出席	埼玉県所沢児童相談所
4	村川 裕昭	出席	所沢市立小中学校校長会
5	高田 美智子	出席	所沢市民生委員・児童委員連合会
6	須田 昭仁	出席	所沢市 P T A 連合会
7	小沢 貞泰	出席	放課後こども健全育成基本方針運営委員会
8	藤澤 拓也	欠席	所沢市私立幼稚園協会
9	喜多濃 定人	出席	埼玉県保育協議会
10	渡邊 秋則	出席	家庭保育室
11	牧 裕子	出席	地域子育て支援拠点事業運営団体
12	金丸 慎一朗	出席	放課後児童健全育成事業運営団体
13	五十嵐 俊昭	欠席	所沢商工会議所
14	渡辺 良雄	出席	所沢地区労働組合協議会
15	草刈 由美子	欠席	連合埼玉西部第四地域協議会
16	本橋 奈穂子	欠席	市民公募
17	仲 直子	出席	市民公募
18	平山 寿代	出席	市民公募
19	北田 奈巳	出席	市民公募
20	大鷲 賛美	出席	市民公募

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>～ 開 会 ～</p> <p>会議成立の報告 会長挨拶 配布資料の確認等 傍聴者入場(10名)</p>
会長	<p>本日の流れについては先ほど事務局からの説明のとおりです。 それでは、議事に入ります。議題1の『ところっこすくすくサポートプラン ～所沢市子ども・子育て支援事業計画～』の素案について、説明を事務局からお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>議事 議題1 『ところっこすくすくサポートプラン 所沢市子ども・子育て支援事業計画 』（素案）について パブリックコメント手続の実施結果について 資料1に基づき説明 素案の修正について 資料2及び資料3に基づき説明</p>
会長	<p>計画素案に対するたくさんの多様なご意見を市民の方からいただき、とりまとめていただいたということで、大変な作業であったかと思われま す。事務局の説明にもあったとおり、いろいろなご意見を踏まえて、一筋縄ではいかないというか、いろいろな判断もしなくてはならないという状況であったかと思 います。 我々が議論してつくってきたものに対して、ご意見をいただき、そのパブリックコメントの結果と素案の修正の原案を提示していただいたわけ ですが、委員の皆様方のご協力によって、これで計画も策定の運びになるわけですので、本日は最後の機会ということにもなりますので、是非、出席の委員の皆さん全員から、今の説明を踏まえて計画素案全体について、ご意見を一言ずついただきたいと思 います。これまでの会議では、挙手の上でご意見のある方に伺っていましたが、こういう場でありま すので、一 通り皆様にご発言いただければと思います。</p>
委員	<p>かなりパブリックコメントの意見が多かったようで、全体の傾向というのがつかみづらいよう ですが、説明にもあったとおり、今回の素案の内容を変えてほしいというよりは、傾向としては、今後実際に計画通りに進ん</p>

	<p>でいく上でいろいろ質を高めるなどしてほしいというような意見が多かったというように理解しています。相当な数のコメントが寄せられている中で、実際にパブリックコメントによって素案を修正した箇所は1箇所だけということですが、市として、パブリックコメントの全体的な傾向としては、ある程度予想されている範囲の中でのコメントが多く、十分にカバーできているという理解でよろしいでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>委員の皆さんの意見が重複することもあると思いますので、一つ一つのご意見に事務局から回答をいただくのではなく、皆様から一通りご意見をいただいた上で、一括してお答えいただこうかと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>パブリックコメントの意見を集約して見ていくというのは、非常に重要だと考えますが、特に今までの審議の中で、基本的な視点という根幹に関わるような内容等で、例えば、「次代の親づくりの視点」を「次代の親の育成の視点」に変更するとか、「ひとり親」の問題など、適切に変更することは、大変重要だと考えます。私の立場として教育を考えていくとすれば、保幼小の連携ということで、小学校との関連を深めていければいいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>子育てをするお母さんに対して手厚い計画となっていると感じています。この会議にはいろいろな立場の代表の方が参加されていますが、計画内の文章には書かなくても、その中で一番「親育て」という意識を持って、皆様に関わっていただきたいと思います。働いているお母さんは忙しくて本当に大変だと思いますし、私自身も子育てをしてきて、例えば、現在は電車に乗ってバギーに子を乗せたまま乗車できる。以前は、バギーをたたんで、子どももバギーも抱えて電車に乗っていたわけで、お母さんに手厚いように子育てをしやすく変わってきていると身近に感じます。お母さん方も代表で出席されていますが、民生委員として、子育ては、子どもの問題ではなく親の問題だと感じます。今、相談する相手のいないお母さんが非常に増えています。本音でものを言えないお母さんが増えています。そういうお母さんたちに本音で関わっていくと、すごくいいお母さんになってくるというのを民生委員として見ています。ここに参加されている代表の皆様方には、そういう意識で、親のことも考えてお子さんを預かってほしいと感じています。</p> <p>また、市は、松居先生を呼んで講演会などを開催し、親の意識を改善、改革することをやられていたのは、すごくいいことだと感じています。親の気持ちを目覚めさせるという作業は、1回やったから変わるわけではないので、是非継続して親育てができるように考えていただきたいと思っています。本当に、ものを話せないお母さんが増えていて、私達が関わる方</p>

会長	<p>は問題を抱えているのですが、そういう方も本当にいいお母さんになっていくわけで、そこには私達だけでなく、市の担当の方や地域のいろいろな方が関わって変わってきています。単独ではそんなに簡単に変えられないので、是非、やさしい所沢になってほしいと感じますし、それが、所沢の子育ての特長になっていけたらいいと思います。また、お母さん、お父さん方も是非、いい仲間づくりをしてほしいと思います。</p>
委員	<p>貴重な意見をありがとうございました。できれば、本日のご意見は、この計画書素案に対してのご意見に絞っていただければと思います。実は、この会議は、計画策定までの間は今回が最終となりますが、計画が動き出してからも会議が予定されているようですので、申し送りの発言は、またの機会にお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>「パブリックコメントに対する市の考え方」の中のNo52での「子育てについての第一義的な責任を有する保護者」という表現があり、いろいろな考え方はあると思いますが、中学生の親の一人として考えますと、中学生くらいの多感な時期には、子どもたちはいろいろなことに興味を持ちだし、いろいろなことに手を出していきます。そういう中であって、問題のある生徒が生じてくる可能性があります。それをいろいろ調べてみますと、家庭の環境というのが一番大事なということになります。そういうことから、子育てについての第一義的な責任を有する保護者というのは適切な表現だと思います。確かに、子どもが小さな頃、子どもを育てていくのは非常に大変だと思いますが、それ以上に5年10年経った方が、もっと親の責任は増してくるし、親の子どもに対する指導などが必要になってくると思いますので、この表現は適切だと思います。是非、若いお母さん、お父さんに頑張ってもらいたいと思います。</p> <p>放課後関係のことを中心に発言します。コメントや市の考え方を拝見して、前回の議事録の開示のことでもあるかと思いますが、市民にはまだ広く児童数の減少とニーズという点が見えていないのではないかと思います。私も7,8年前にPTAの会長をさせていただいた時に、その学校の児童数が556人だったのが今は483人と、クラスも3つ減っているという状況があります。自分の18歳の子どもが入学した時は、1学年4クラスになるかという状況でしたが、今40人学級でも2クラスになっているのが現実です。参考までにその学校は、評判がよく、東村山市など都内に引っ越ししても、越境で来てくれているという状況で、結果的に広げていても児童数は減るということですので、全体的に見ますと、市で魅力ある子育てができる形になっていっても、加速度的に減っていく児童数を追いかけることが難しいというのが実感としてあります。</p>

委員	<p>パブリックコメントについて少し話をしたいと思いますが、今回、本当にいろいろな意見があると感じまして、いろいろな委員さんからご意見がでて、ご意見がまとまらない、パブリックコメントをしたらもっとまとまらないという中で、事務局が市の考え方も提示し、よく分かりやすくまとめていただいたと思います。分かっている意見の中でも、もっと充実してほしいという意見や、限られた財源なのだから慎重に計画を進めてほしいといったいろいろな意見があったのですが、こういう意見は大事にしながら、安易に計画を進めるのではなく、全ての子育て家庭を支えていくという視点で、幼稚園も保育園も小規模保育施設も子育て支援センターも学童も家庭保育室も、子育て家庭がすべて同じような支援を受けられるように進めていかないといけないと感じています。空いている施設の利用など、費用がかからない工夫をしながら、一人でも多くの方が受けられる支援を、行政側も指導しながら進めていただきたいと思います。</p> <p>保育士不足が叫ばれています。県全体としても保育士がいないということで、昨年、保育2団体で養成校との情報交換会を行いました。県を上げて保育士の確保を行っていかなくてはならない中で、どんどん施設整備を進めていくということはもっと保育士不足を加速していったり、質の低下にもつながったりするので、そのあたりを慎重に進めていっていただきたい。もっと、既存の幼稚園、保育園、小規模施設などいろいろなところが、経験と実践を活かして、待機児童解消に協力して、一人でも多くの子どもたちを預かっていけるようにしてほしいと思います。私の園でも、4月の時点では満床で入っていますが、協力して一人でも多くの人を受け入れられるようにしていったらいいと思います。そして、是非保育士の処遇改善についてもやっていっていただけるとありがたいと思います。</p> <p>なお、いろいろなところで、公立保育園に関する意見がすごく出ていますが、民間保育園も頑張って一所懸命やっています。12月の申込状況を見ても公立が681名、私立が880名と、私立の方が申込みが多いという状況もありますので、公立ばかりでなく民間も一生懸命やっているところを見てほしいと思います。</p>
委員	<p>子ども・子育て支援事業計画ということで、当初は非常に幅の広いものだと思っていましたが、いろいろな施設の方が集まっているいろいろな意見が出された中で、今回の案はすごくまとまっていいものができるのではないかと感じています。保育園の保護者の方のご意見の中にも、小規模保育施設が今回新たな事業として、認可された保育園と同等の基準で保育が行われるということで、期待され安心して預けられるという意見が出ていることは、施設側としてもとてもうれしいことだと思っています。どちら</p>

かということ、今までは、保育園に入れないう方が家庭保育室に入ろうかという流れが多かったと思いますが、選択肢が増えたことで、こちらもより良い保育をしていくということもできますでしょうし、また、保護者の方も地域型保育事業、小規模保育事業の良さについて気付いていただけたらと思います。まだ、地域型保育事業、小規模保育事業の存在がなかなか知られていないような状況ですが、本日ここに、たくさんの方がご参加されていて、是非、小規模保育などの事業もあるということを伝えていってもらえたら、いろいろな子育て事業につながっていくと感じています。

あと、保護者の方の意見の中で、制度そのものが複雑で理解できないことが多いといった意見がありました。また、行政の方から直接対応してくれることを希望するという意見がありましたが、実際利用している保護者からもかなり意見が出ています。保育料に関する説明会を開いていただけるとのことですが、制度全体の説明を機会があれば、是非設けていただければ、より保護者の方たちにも新制度の理解を深めていただけるのではないかと思います。

委員

今回、パブリックコメントに対してこれだけの教育や子育てについての意見をいただけて、市民の方は関心が高いと私自身感じることができました。私も「パブリックコメントに対する市の考え方」の資料が送られてくる前に、たまたま通りかかった公民館で見かけて読ませていただきました。こうやって市民の方の目に止まるところに置いていただけたのも非常に良いと思いました。私も保育園を運営してまして、この4月の統計について見てみますと、市でも、国そのものがそうですが、人口が減るというように見られていますが、実際には子どもが減るのと同じように保育の要求が減っていくかといえば、そうではないのではないかと思います。私の園では、貧困家庭のお子さんも虐待を受けていると思われるお子さんや精神疾患を患っている家庭もあります。そういった子どもの問題が保育園にいるとよく見えるといいますか、保育園に集まってくるということもあります。それと同時に、実は所得が低く、生活が大変な家庭のお子さんは、保育園に入りにくい状況にあります。正規のお仕事をして育児休業を取る家庭の方が入りやすいのです。私どもの園に来られているお母さんでも、今4人目のお子さんを妊娠していて、経済的にもう産めない状況で、墮ろすお金もないという方がいて、思いあまって市役所に匿名で電話をしたそうですが、上のお子さんは皆保育園をやめていただきますというお答えだったそうです。お母さんがパートで働いていて、妊娠したことが分かれると職場を辞めさせられるかもしれない、だけど子どもは保育園で育てたい、今度生まれる子も、生まれたらすぐ保育園に預けて働きたい

とお話ししたようですが、パートで産休も育休もないようで、仕事をやめたら、上のお子さんも下のお子さんも保育園は解除になりますという回答をいただいて、保育園に駆け込んできたわけです。実際に、いろいろな指標、指数で見ると、保育園に入れないお母さんが多いかもしれません。しかし、そういう低いお母さんたちはパートでしか働けない、今パートだと短時間しか働けない、保護者の方でも掛け持ちで仕事をしないと生活できない、夜中に子どもを置いて働きに出るお母さんもいます。こういうような状況で、本当にこの制度になって救ってもらえるのかという点を心配しています。

さらに、この4月からの入所の状況を見てみますと、公立保育園、私立保育園、地域型の保育事業を含めて、1歳児については11月時点で616名が申込みをしています。これを公立、私立、地域型で割っても、各園で8人くらいのお子さんを入所させなくてはならないということになり、8人を受け入れるというのは、0歳児のことも考慮すると受け入れられません。そういう点で1歳児でも待機児が出るのではないかと思います。2歳児についてはどこでもいいからといっても各園4人ずつ入れなくてはなりません。0歳児に至っては、全部の園で受け入れても6人ずつ入れなくてはなりません。数字のマジック的なことがあります。お母さんの通える範囲ですとか、職場の距離などを考えますと、受け入れられないお子さんも出てくるのではないかと思います。この計画の中で、人口が減っていくことにしており、それがとても心配になります。これについても、状況が変われば、量の見込みはそれに応じてちゃんと考えていくということで書かれているわけですが、保護者の方にとっては、質の高い認可を受けた保育園に入りたいという要望が多いと思いますので、そういう意味では、この計画ができた後の、ちゃんとやっているかどうかを確認していくことが今後大事だと思います。私としては、まだ、この制度になって本当に大丈夫かなという心配があります。

委員

高校生の子を持つ親ですが、このパブリックコメントの多さに驚きました。その意見を全部読んでみると、保護者の中には良い案だという方もいましたが、不安だという声の方がたくさんあるということをあらためて感じさせられました。この不安に対してどうやって向き合っていくかということがとても大事なのかなと思います。やはり、少子化で子どもの出生率がだんだん少なくなっていくからこそ、そこを食い止めるために、もっともっと寄り添ったことを大事にして考えていかななくてはならないと思います。第一義的な責任が親にあるという点が盛り込まれていますが、だったらなおさら、その親の子育てを支援していくことを大事にしていかなければ

ればいけないと思うし、人として発達していく中で一番大事な乳幼児期をどのように豊かにし、支援するのかということはこの会議の中でも何回か議論しましたが、まだまだ大事にしていかなければいけないのではないかと、このパブリックコメントからも読み取れるのではないかと思います。この制度の開始が目の前に迫っていますが、育休中のことをどうするのか、第二子の出産後の入園についての保証をどうするのかなど、指数上の点数がなかったら入れないことがあったりするわけで、これらをしっかりと対処する必要があると思いますし、そういうことが支援なのだと思います。前の会議でも話し合いましたが、時間外の延長保育なども地域によっての差をつけない方がよいという意見がパブリックコメントにも出ていますし、保護者の方もそういう意見が多いと思います。放課後児童クラブについてもそうですが、そういう点からもう少し検討してもいいのかなと思います。私も保育園で働いていますが、入所してくる子どもたちの様子は年々変わってきていて昔とは違うので、保育を必要とする子どもたちが本当にたくさんいます。数を増やして、どこでもとりあえず預かってもらえるのではなく、乳幼児期の豊かな保育ということを目指してやっていけたらいいと思うし、新制度が始まっていく中で、認可園を増やしていきますということも出ていますが、所沢として保育水準を下げませんという点も謳っています。指導、監督をしっかりしますということも言っているので心強いですが、新制度になって、あらゆる保育園がこの保育水準をどうやってしっかり守っていけるかという点については、保護者が園に不安があったときには市を頼りにすると思いますが、その声をどうやって拾って、その声をどうやって保育園の現場に伝えるのかというところがとても大事になってくると思いますので、その具体的などころも確認したいと思います。

この制度が4月から始まることに保護者の方はとても不安を持っている点がパブリックコメントにも現れていると感じています。保育所についても、明日説明会が行われるということですが、2箇所だけでやったからといって保護者全員が参加できるわけではないので、新しい制度ですので、より多くの保護者の方に伝えるということをしていただけたらと思っています。数多く開催していただくとか、各園に行政の方からちゃんと説明していただければと思います。

小学生の子どもがいますが、上の子は20歳になっていますので、20年くらいの間で子育てをしてきましたし、私自身も子どもに関わる仕事をしています。子どもが減っている中でも親のニーズとかは、他の委員の方も発言されていましたが、複雑になっていると思います。自分の子どもの

委員

ことですが、学童クラブに通っています。その地域は、児童館生活クラブも「ほうかごところ」もないので学童クラブしかありません。そこで今回、児童館生活クラブと学童の保育料を均一にしていこうという動きがあって、学童クラブとしては保育料が下がるのでありがたいことだと思っていましたが、ふたを開けてみると学童クラブしかない地域では、今まで保育料が高かったために子どもを預けてこなかった方々が入所しやすい環境となります。私の子どもの年齢も上がってきていますが、保育料が下がることによってこれまで入っていた子どもが入れないのではないかという不安が増えてきています。市の考え方として量、質の確保を図っていくとしていますが、親としての不安があります。まだ2年ありますが、学童クラブがないと仕事はできませんし、長期休みの際など不安を感じています。

そこで働く指導員の方々も人によって資格があったりなかったりするようですが、それでも一生懸命に仕事してくださる方もたくさんいて安心して預けていますが、私の直接利害の関わる施設はどうなのかなという不安があります。施設の充実を図っていくということですが、「パブリックコメントに対する市の考え方」のNo34の回答のように「事業者の問題だと考えます」と書いてありますが、いい方を採用して、施設の充実を図りたいと思っているとは思いますが、実際、まだ足りないと思いますので、本当に充実を図れるのかなというところに不安を感じています。

過去の会議において、なかなか発言できませんでした。新制度について話をしてきましたが、結局のところ「全ては子どもたちのために」ということで一生懸命行政の方々がやっているということは変わらないのではないかと思います。私も小学生が2人いますが、PTAのスローガンも「全ては子どもたちのために」ということでやっています。最近の親を見ていると、我が子しか見ていない、すぐ何かあると人のせいにするというような親が多いと思います。私は、親や先生に対して無礼な子どもたちのことをたとえ我が子でなくても怒ったりしますが、そういう子どもたちを保育などの場で支えている方々は本当に大変だと思います。私は、まず子どもを授かることから苦労しまして、授かった子どもを預かってもらって働けるということにとっても感謝しています。これだけ急速に少子化が進む中で、行政ばかりにあれもこれも期待するのは、少しおかしいと思います。別の委員の方も発言していましたが、民間の保育事業も本当に力になっていると思いますし、すごく頑張っていると思いますので、行政ばかりで対応するのではなく、民間事業者も頑張っているところを行政が支援するような形になっていけば良いと思います。職場で立て続けに起こった

委員

委員

こととして、12月に学童の申込みが締め切られ、その後仕事が決まって会社に入ってきた方がいますが、今は保育園が利用できているけれど4月からの学童が決まっておらず、どうしようという方とか、年中に娘がいてそこで妊娠し市の保育園は退所させられた方や、下の子が生まれる前に上の子までやめさせられたという方もいました。そういう話を聞くと、本当に保育の場所を探している方は、切実な問題だと思いますが、行政ばかりではなく、学童や家庭保育室などの利用も検討して、親もしっかり考えていかななくてはいけないと思います。また、放課後児童クラブを拡充していく方向でいけば、働く親は助かるとは思いますが、スタッフ不足も深刻な問題ですし、すぐに何か良くなるということはないと思いますが、子ども、生徒、先生、親が協力して良くなっていけばいいと思います。

パブリックコメントを見ると、それを書いた方の思いが伝わってきます。育休中の保育の継続申請については、みんな平等にできるのではないかと思います。それで私は二番目の子を安心して産めたということがあります。育休中にこれまでと同じ生活のリズムで子どもが生活できて、そのまま復帰しても子どもに負担がなく子育てができました。その制度があるがために、待機のままという方がいらっしゃるのだなと思っています。本来保証されていることとして、待機さえなければというか、必要に応じて子どもを安心して保育してもらえるところがあれば良いと思います。そうでなければ、今保証されているシステムさえも不安定なものになってしまうのではないのでしょうか。行政の方も力を尽くしてくれていると思います。我が子が、放課後の生活クラブに入っていますが、青少年課の方が児童館に足を運んで、施設の方とよくお話ししているのを見かけますし、ありがたいと思います。預けられた子どもたちは不安で一杯でしたが、スタッフの方が温かくて、今は安心して預けられています。子どもを預けて仕事ができているので、現行の制度によってうちは生活が成り立っている状況です。ただ、働きたいけど預ける場所がなく待機という方や、生活が成り立つのであれば働かないで家庭で子どもを見たいという方が、私の周りにはいっぱいいて、保育園で裕福な人もいますし、家庭の格差というものを感ずります。

生活がギリギリできるところまで働いて、後は子どものことを見たいという方がいて、それらの人たちは、保育短時間の枠に入ることになると思います。その短時間の枠が非常に微妙で、短時間に変えたいけど、短時間にすると朝の延長料金が発生してしまうみたいに、複雑な新制度に私の周りのお母さん達は頭を抱えていて、疑問が明らかにならないままに進んでいて、説明会も1日だけなので、土曜日働いているお母さん達も多く参加

<p>委員</p>	<p>できないという方もいて、不安なまま進んでいるという印象があります。</p> <p>パブリックコメントの資料を読ませていただいて、保育事業の捉え方について、やはりデータを大事にして考えることが重要で、市の考え方もデータに基づいて考えを示しています。私もデータを基に分析しないとイケないと思います。その点から、保育の需要という捉え方をデータから見ると、実際は表から見ても徐々に減るという状況はどこにも出ていません。人口が減少しているからといって利用者が減るということはないわけです。市の考え方も減るとは答えてはいません。もしお答えいただけるのであれば、平成25年度で保育需要がどのくらいの割合であったかをお聞きしたいと思います。その点から、今の状況で、将来減りそうだという分析はよくないと思います。この5年間で保育需要が減るというデータがあるのであれば、そういう表現も可能でしょうが、そういうデータがないのに文章で出てくるのが問題だと思います。そういう意味で公立保育園の利用調整について、あえてここで文言を入れるのはよくないと思います。保育需要の問題は議論をしておきたいと考えます。</p> <p>次に待機児の捉え方ですが、児童福祉法からいって待機児は本来あってはならないわけです。待機児を即、解消しなければいけないと思います。そのために、市が主体となって頑張ってもらいたいなどの要望が強いのだと思いますが、どのように待機児をなくしていくのかということについて、全体の中から見えてこないのではないかと思います。利用者、保護者、保護者会などの団体などともっと話し合いをして、解決策をつくっていく必要があると思います。そういう点から、新制度の説明会が利用者に対して行われていないということが残念です。まだ時期もありますので、行っていただきたいと思います。</p> <p>気になっているのは、「パブリックコメントに対する市の考え方」のNo167について、市の考え方が分からないのですが、市の回答の1行目に小学校が出てきますが、育休と小学校の入学との関係が分かりません。育休は小学校に入学するかの問題ではなく、保育園に預けている状況もあるでしょうし、その点が分からないので詳しい説明がほしいです。</p> <p>また、学童の問題については、このままでは了承することはできないと思います。特に27年度のスタートにあたって、平成26年の登録人数よりも少ない人数を見込んでいるのでは、対応として十分でないと思います。学童の問題も、もう少し議論していきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>放課後児童健全育成事業については、平成27年度の児童数の量の見込みで2,483人となっていて、今年度今現在の入室申込件数は2,689人ということで200名くらいの差があるということで、今後の事</p>

<p>副会長</p>	<p>業計画をやっていくに当たって柔軟に見直しを進めていければという点と、今回の保育料を統一するという点で、利用人数がかなり増えたということもあり、箇所数も増やすことが大切になってくると思いますので、学校の空き教室や民間の学童保育をしている事業者などへの補助等、いろいろな対策を考えてほしいと思います。</p> <p>制度が変わる中で計画をつくっていくということで、非常に不安な部分があると思います。実際に動き出してみないと分からない部分もあって、思い切った計画が立てられない部分もあるかと思っています。少なくとも、今回の計画について必要な部分は網羅されているのではないのでしょうか。今回の計画の限界はある程度あると思いますが、今後については、見直しをしていくということが非常に大切かと思っています。今回の計画で非常に大切なのは、第3章に記載してある部分で、常にこの理念に基づいて、すぐでも不都合が生ずれば計画を見直すとか、新しいものを入れるなどを考えていただけたらと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>多様なご意見があるとあらためて思いました。もともと国が音頭をとって日本全国で一斉に対応しており、所沢市の市民のニーズを聞いて検討していますが、家で言えば設計図の段階でして、その上に何人の家族が、どのような収入で、どういう家族構成の方が住むかは、建物が建ってから見えてくるということだと思います。副会長のお話しにもありましたが、まずは、多様な意見を聞きながら最大公約数的なところで図面を引くということかと思っています。その上で、個別には私の家庭では合わないとか、うちの職場には合いにくいといった問題が出てくるのだと思います。それは、ある意味当然のことで、全てのニーズを見込んで計画をつくるわけにはいかないということで、そういう意味からこの会議の役割が今後これから5年続くわけですが、モニタリングしながら、細やかな血の通った対応する議論をしていくということは、我々の引き続きの与えられた役割だと思います。</p> <p>パブリックコメントの市の考え方について読ませてもらって、確かに不安だとか不信の念があるとも思いますが、ここが間違っているとか、ここがおかしいという点が噴出しているというようには私は受け止めていませんが、これで大丈夫なのという声は、たくさん出ているように思います。それに対しては今後も継続して議論を続けていくのだと思います。私は心理学をやっておりまして、疑心暗鬼といいますか情報の少ないところにいるんな不安が広がって、あらぬことが出てきたりすることがありますので、市の行政側としましても細やかに情報を開示して広報に努めていただきたいと思います。また、市民の声を丁寧にすくって細やかな対応をする</p>

事務局	<p>というのを是非今後やっていただきたいと思います。</p> <p>委員の皆様からご意見をいただき、あらためて、皆さんが所沢の子どもたちのために熱い思いを持っていらっしゃる、子どもたちのことを考えていただいていると実感したところです。いろいろな意見があったと思います。特に保育需要ですとか放課後の需要、第一義的責任といった点などについては、特に賛否両論的な形でご意見が出てきたと思います。さらに、小学校とのつながりを強化してほしいとか、相談相手のいない親御さんが多いので地域を含めて親に寄り添うようなことも考えてほしいなどのお話しも大変ありがたく受け止めています。</p> <p>児童数が減ることは間違いないと思いますが、だからといって需要まで減ることはないのではという点は、そういうお考えもありますが、具体的に数というものが増えるという判断ができない現状で、今示しているような計画ということで進めさせていただき、今後、この計画をP D C Aサイクルで見直し、来年度以降もこの子ども・子育て会議において皆さんにも検証していただくという機会があります。明らかにこの計画が現実と乖離するようであれば、当然見直していきます。</p> <p>説明会につきましては、明日2回予定しており、それ以降は今のところ予定はしていませんが、パブリックコメントにも書いてありますとおり、そこで出た質疑応答等は市のホームページなどで公開しますし、今後、新制度に対する情報などは随時広報やホームページなどで情報発信していくという考えでいます。</p> <p>データについて、保育の利用率について、計画書の28ページで、25年度26年度の利用率を示しており、25年度が28.2%、26年度が29.8%です。</p>
会長	<p>皆さまからご意見をいただき、事務局からの回答を受けましたが、更に確認の必要のあるといったご意見はありますか。</p>
委員	<p>説明会について、ホームページなどパソコンで見てくださいますとのことでしたが、保護者の方は是非来て説明してほしいと思っていますし、保育料についての説明会がなぜ2箇所だけなのかということで、出向いていただくとかの説明は考えていないのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回の説明会は、一般の市民の方を対象として料金のことを説明するという趣旨で考えており、まず2箇所開催し、質問の回答はホームページで公開して進めていきたいと思っています。市民の方がどのような点が一番分かりにくいかということを見極め、その上で今後のことも検討していきたいと思っています。</p>
会長	<p>是非そのようにしてください。不満を残すのは、それが不信につながっ</p>

委員	<p>ていきますので、不毛なことだと思えます。行政もいいものをつくろうとしているのは実感していますので、是非市民の声をよく聞いていってください。</p> <p>「パブリックコメントに対する市の考え方」のNo167の意見と市の考え方について教えてください。また、学童保育の箇所を増やさないと書いてあって、それに対しての市の考え方が示されていませんでしたが、教えてください。</p>
事務局	<p>学童保育の箇所を増やさないということでしたが、市としてそのようにお示したつもりはありませんし、また新設しないとは明言しておらず、今後の状況によっては増床、建て替え、新設などを検討していきたいと考えています。もし箇所を増やさないとといった表現があれば訂正させていただきますが、今後全く箇所を増やさないと考えているわけではありません。</p>
会長	<p>「パブリックコメントに対する市の考え方」のNo167については、来年小学校にあがる年長の子どもは、小学校にあがる前に集団生活に慣れておく必要があることから、育児休業中の保育の継続を認めています。</p> <p>まだまだ、ご意見もあるかと思いますが、一旦止めさせていただきたいと思えます。今後このような場でご議論はできませんが、必要であればまた持ち回りでも議論はさせていただこうと思えますし、今後の修正等につきまして、原則として最終案の決定は会長の私に一任させていただくということで、よろしいでしょうか。私の判断で、また皆さんの意見を伺う必要が出てくることもあるでしょうし、細かい点などは私の判断に一任させていただくということでよろしいでしょうか。</p>
一同	(異議無し)
会長	<p>責任を持って偏った方向にならないようにまとめさせていただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>議題2 その他</p> <p>その他につきましては、資料を用意しておりませんが、最近の国の動向や計画策定までの予定について報告します。</p> <p>まず、国の動きについてですが、次世代育成支援対策推進法につきましては、昨年改正され、11月に策定指針が国から示されました。次世代育成支援行動計画については、市町村での策定は任意とされているとともに、策定する内容も任意となっております。所沢市では、本事業計画は次世代育成支援行動計画の内容を含めることとし、国の策定指針で示された内容を盛り込んでいます。</p>

<p>会長</p>	<p>その他、公定価格や各種事業などについて、まだまだ国で検討中の事項が多数あり、今後の国の動きを見ながら、必要に応じて計画上の文言修正をする必要も生じてくると思います。また、国の予算確保状況や公定価格などにに基づき、幼稚園や保育園などの各施設が今後どうしていくのか、例えば認定こども園に移行するのか、移行せずに継続するのかなどの判断をしていくこととなります。</p> <p>次に計画策定までの今後の予定ですが、今年度の会議は、今回が最後となります。計画は年度内に策定し、広報誌やホームページ上で市民に周知していきます。計画書は冊子にし、完成しだい委員の皆様にも配布させていただきます。</p> <p>今の説明のとおり、国もまだ固まっていないという状況で、いろいろなものが動きながら議論している状況にあります。だからこそ、次年度以降モニタリングをかけながら修正していくということが欠かせないということになると思います。</p> <p>今のご説明は報告ということで、お聞きしたいと思います。</p> <p>それでは以上を持ちまして、本日用意しておりました議題は全て終了となります。</p> <p style="text-align: center;">副会長挨拶</p> <p style="text-align: center;">～ 閉 会 ～</p>
-----------	---